



# 富士山世界遺産センター南館ワークシート

## チャレンジ編 富士信仰の歴史

2024.12

学校 年 組 名前

てんじ  
展示

南館をめぐり、富士信仰の歴史について、ワークシートを仕上げよう。  
各コーナーに行き、空欄にあてはまる言葉を書き入れてください。

### 第1問 「⑧富士山の女神」

- 性別のなかった富士山の神様ですが、9世紀には、火山の女神と考えられ、あさまのかみ浅間神の呼称も現れます。最古級の像を見ると、富士山の神様は「(1) \_\_\_\_\_」であることが分かります。  
しんぶつしゅうごう神仏習合※の時代になると、浅間神は、仏様の世界では「(2) \_\_\_\_\_」として表されました。  
その後、富士山の神様は、「(3) \_\_\_\_\_」に代わっていきました。



※日本は古くから自然を神様として信仰する神道がありました。この神道が新しく大陸から伝わった仏教と一体となって、神様や仏様が一緒にまつられるようになりました。神仏習合といいます。展示の木造浅間神像は、仏様と神様が一緒になった神仏習合の時代の珍しい像です。

### 第2問 「⑨変わりゆく富士信仰」

- 信仰のめばえ：古代の火は神の「(4) \_\_\_\_\_」と考えられました。富士山の神様(浅間神)を鎮めるために遠くから手を合わせて拝む「(5) \_\_\_\_\_」という形態がとられました。  
しゅげんじゃ修験者たちの行場に：きょうぼ噴火が治まると、富士山で修行することによって験力(神通力)を手にいれ、人々を救おうとして山に登る修験者が出てきました。山頂をめざして、登りながら拝む「(6) \_\_\_\_\_」がはじまりました。  
ふじ こう富士講の隆盛：18世紀には富士山を信仰する集団(富士講)が誕生しました。さらに、れいじょう湖や洞くつなどの霊場を巡りながら拝む「(7) \_\_\_\_\_」が広まりました。

富士の金剛杖は、富士登山のための力杖として使われました。



### 第3問 「⑩江戸の富士の山開き」

- 江戸やその周辺地域の富士講は、誰もが気軽に富士登山ができるように「(8) \_\_\_\_\_」をつくりました。富士講が増えるとともに、その数も増えていきました。

富士信仰の拠点として造られ、そこから富士山を拝みました。





## 第4問 「⑩富士講信者の旅」の裏側 タッチパネル「1 富士講信者の旅」

- 7月10日 江戸を出発。
- 7月11日 高尾山、琵琶滝で「(9)\_\_\_\_\_」。
- 7月12日 上吉田、外川家の「(10)\_\_\_\_\_」住宅に宿泊。
- 7月13日 船津胎内樹型※、中に入れば「(11)\_\_\_\_\_」と世に伝わる。
- 7月14日 「六根※清浄」とかけ念仏を唱えつつ、険しい道を登りきる。

※樹型とは、木に溶岩が流れ込み、木の形に空洞ができたものです。

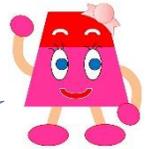


※六根とは、私欲や煩惱、迷いを引き起こす目・耳・鼻・舌・身・意の六つの器官をさします。

## 第5問 「⑮人々が祈り、巡った富士山頂」

- 御来光とは、東を向いて日の出を見る、高山で尊いものとして迎える日の出のことです。西を向いて日の出を背中に受けると、自分の影の周りに虹色の輪がかかる「(12)\_\_\_\_\_」現象が起こることがあります。その影を「(13)\_\_\_\_\_」が迎えに来たと思い、「御来迎※」と呼んでいました。

※来迎とは、人が亡くなった時に仏様(阿弥陀三尊)が死者を迎えに来て、極楽浄土に行くことです。富士山に登ることは、一度死ぬことであり、富士山から下山することは、新しく生まれ変わることを意味しました。病気が治り、さまざまな願いがかない、死後には、極楽に行けると考えたのです。



## 第6問 「⑭富士講の心身を清めた水辺」

- 富士山を登るとともに、巡った場所は、内八海うちはっかいと呼ばれる、山中湖、明見湖、泉津湖(泉瑞)せんづこ、河口湖かわぐちこ、「(14)\_\_\_\_\_」、もとすこ「(15)\_\_\_\_\_」、しびれこ本栖湖、四尾連湖の8つの湖です。長谷川角行はせがわかくぎょう※は、これら内八海以外に、「(16)\_\_\_\_\_ 富士講遺跡」、「(17)\_\_\_\_\_ ノ滝」などでも修行をしました。
- 富士講は、富士山の山腹を一周する「(18)\_\_\_\_\_」巡りも行いました。

※長谷川角行は、富士講の祖(はじめた人)です。

富士山の山頂を一周することを「お鉢巡り」といいます。



正解数

個

判定

18個  
博士

17~15個  
合格

14~10個  
もう一歩

9個以下  
がんばろう

## 富士山世界遺産センター南館ワークシート 富士信仰の歴史 答え

- 第1問 (1)女性 または 女神  
(2)大日如来(だいにちによらい)  
(3)木花開耶姫命(このはなさくやひめのみこと)
- 第2問 (4)怒り  
(5)遙拝  
(6)登拝  
(7)巡拝
- 第3問 (8)富士塚
- 第4問 (9)水行  
(10)御師(おし)  
(11)生まれ変わる
- 第5問 (12)ブロッケン  
(13)阿弥陀如来(あみだによらい)
- 第6問 (14) (15)西湖 精進湖  
(16)人穴(ひとあな)  
(17)白糸  
(18)中道(ちゅうどう)